

営農情報

第20号 平成25年12月30日



「あまおう」1月の管理

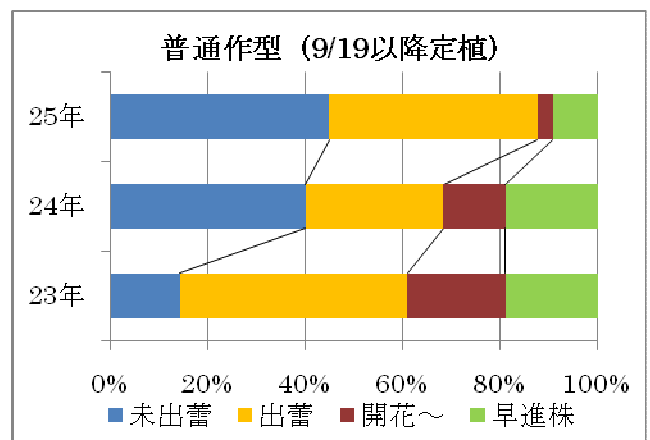
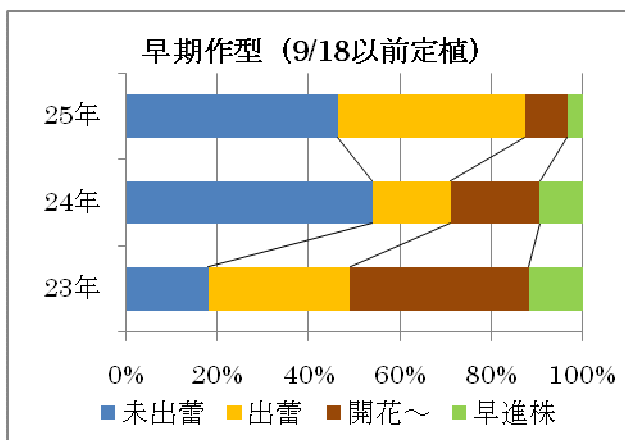
南筑後普及指導センター
福岡大城農業協同組合

11月中旬から冷え込みが続いたため、果実の玉伸びは良くなっていますが、株の生育は緩やかで、出荷量が伸び悩んでいます。

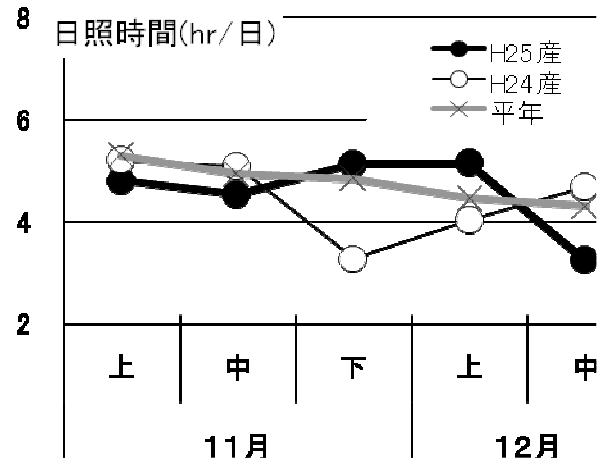
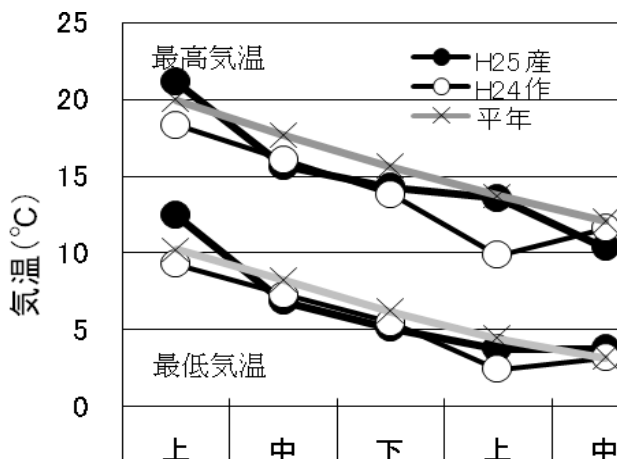
現在、早期作型で収穫終盤、普通作型では1～3果収穫となっています。2番果房は、過去2年に比べて開花以降の株率が低いものの、早期・普通作型ともに出蕾が5割程度と全体的に揃いの良い状況になっています(下図を参照)。

1月は、気温が低く、日照時間が短いため、株が弱りやすくなります。特に1・2番の着果負担が重なる普通作型では、株疲れが懸念されます。今後は、高めの温度管理と長めの電照管理で草勢を維持し、2番果房の生育促進と3番果房の早期出蕾を促しましょう。

年度別2番果房出蕾状況(南筑後普及指導センター管内:12月9～13日調査)



〈 最高・最低気温と日照時間(アメダス久留米より) 〉



○ 温度管理

- ・ 2番果房の収穫開始までは、昼温(特に午前中)を高め管理し、心葉の展開や果房生育を促進する。

【果房の生育状況別温度管理の目安】

	昼間	夜間	備考
1番果房収穫期間	20～24℃	5～7℃	収穫期間中は品質向上のため、やや低めの温度管理
1番果房収穫終了から2番果房収穫開始まで	24～26℃	5～7℃	2番果房の生育促進と、3番果房の出蕾を促すため高めの管理

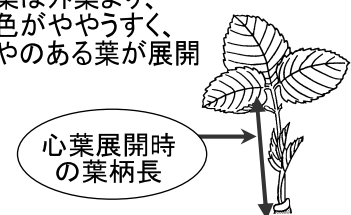
○ 電照管理

果房の連続性向上と収量増加のため、草勢が適正に維持できるように電照時間を調節して下さい。

- ・ 電照時間の調節は、心葉の展開状況を観察し、株の着果状況や天候から今後の生育を予想して行う。
- ・ 厳寒期は、生育が旺盛な場合でも電照を完全に切らない。
- ・ 心葉から2枚目の葉が3枚目の葉より小さい場合は、電照時間を長くする。

【心葉展開時の葉柄長の測定】

心葉は外葉より、葉色がややうすく、つやのある葉が展開



わい化状態の心葉

【電照時間調節の目安】

	時間を長く	現状維持	時間を短く
心葉の葉柄長	8cm以下	9～11cm程度	12cm以上
心葉の色	濃緑色	緑色	黄緑色
着果負担	増加	並	減少
予想気温	低温	並	高温

○ かん水・肥培管理

- ・ かん水は、地温を下げないように、出来るだけ晴天日の午前中に行う。
- ・ 乾燥し過ぎると生育が悪く、果実の肥大不足や3番果房の出蕾遅れを招く。
- ・ かん水は定期的に行い、1回当たりのかん水量は少なく回数を多くする。
- ・ かん水の目安は、pF値1.7～1.8とする。
(朝の葉液状況を適湿状況の目安とする)
- ・ 液肥は、株が弱らないよう定期的に施用する。
- ・ 液肥の施用量は、窒素成分で1か月当たり1～2kg/10aを目安とし、これを3～4回に分けて施用する。

1番と2番が離れた場合は、1番果房終了から2番果房着色期までは追肥しない。

(裏面につづく)

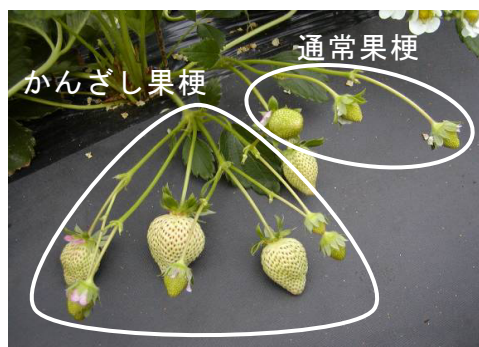
○株整理

- 1番果房の果梗枝は、収穫が終わり次第除去する。果梗枝が残っていると、3番果房の出蕾抑制及び果実キズの発生、果梗枝折れの原因にもなる。
- 無駄な養分を使わないように、ランナーやどろ芽は除去する。
- 下葉は、枯葉や黄化した葉のみを除去する。
- 葉陰などで果実に光が当たらないと、黄種果が多くなるため玉出しを行う。
- 株整理は、収穫量の少ないうちに行っておく。

○摘果

- 早進株のように着果数が多い場合、株の負担が大きく矮化しやすいため摘果を強めに行う。
- 2番果房の摘果は、3番果房の連続的な収穫を目的に行う。
- 摘果は、下表を目安に行う。

通常果梗: 3~5果/枝
かんざし果梗: 6~8果/枝



【 1枝当たりの着果数目安 】

○病害虫防除

ほ場によっては、ハダニやアブラムシの発生が見られます。灰色かび病や菌核病等と併せて、防除対策を徹底しましょう。

防除は晴天日に行い、散布した薬液が速やかに乾くようにする。

○ハダニ類

- 活動の衰える厳寒期に防除を徹底し、2月以降の急増を抑える。
(株整理の後が防除に最適)。

○灰色かび病・菌核病

- 湿度が高いと発病しやすいため、出来るだけ換気を行う。
- 曇雨天日などは、暖房機の送風や循環扇を活用し、ハウス内の除湿を行う。
- 発病した葉や果実は、速やかにハウス外に持ち出す。
- 薬剤により、定期的(10~15日毎)に予防防除を行う。

○うどんこ病

- 薬剤により、定期的に予防防除を行う。
- 発病した葉や果実は、速やかにハウス外に持ち出す。

農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう!